

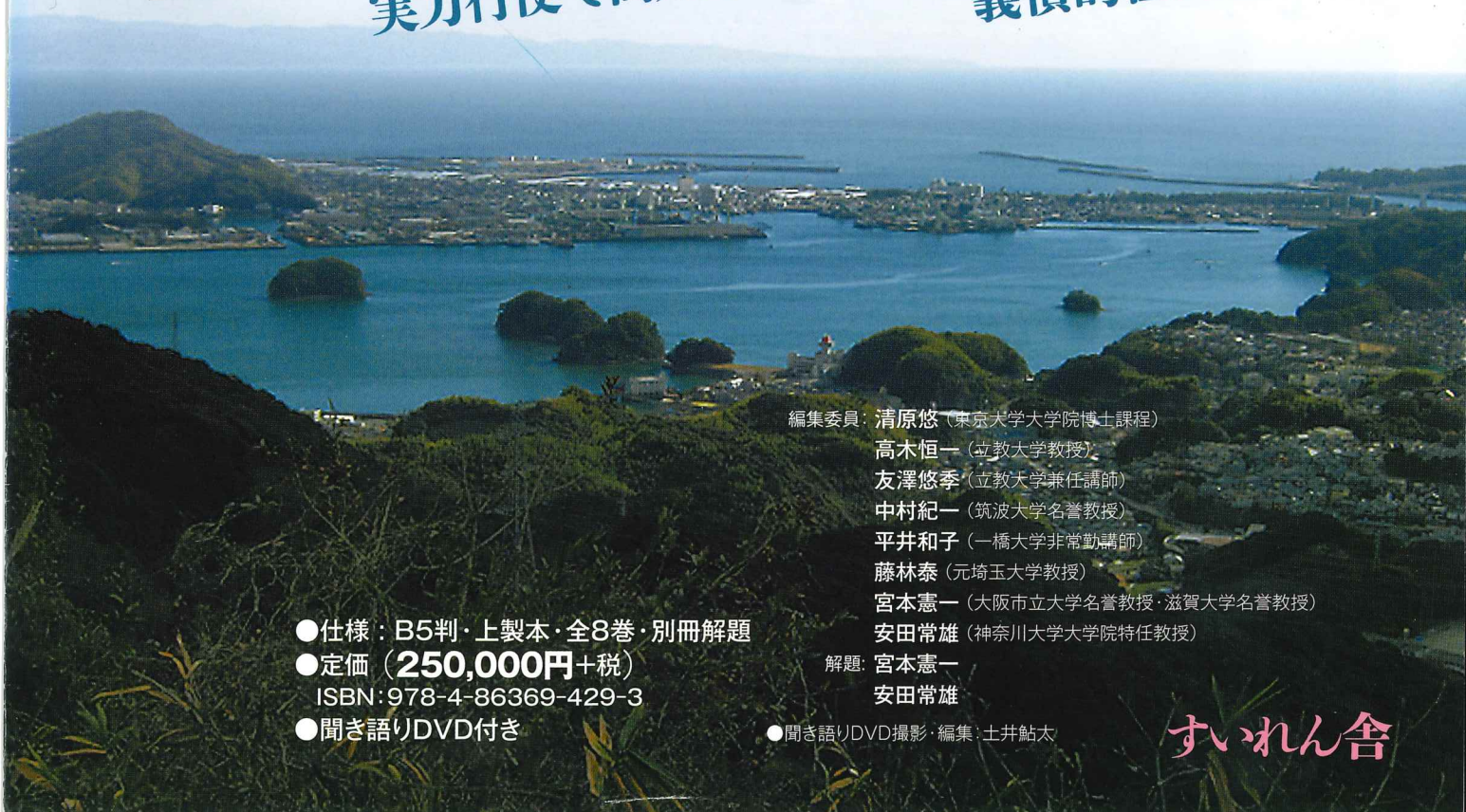
16年6月刊行

戦後日本
住民運動
資料集成10

高知パルプ 生コン事件資料



実力行使で高知県浦戸湾の自然と人々の命を守った
義憤的住民運動資料



編集委員：清原悠（東京大学大学院博士課程）

高木恒一（立教大学教授）

友澤悠季（立教大学兼任講師）

中村紀一（筑波大学名誉教授）

平井和子（一橋大学非常勤講師）

藤林泰（元埼玉大学教授）

宮本憲一（大阪市立大学名誉教授・滋賀大学名誉教授）

安田常雄（神奈川大学大学院特任教授）

解題：宮本憲一

安田常雄

●仕様：B5判・上製本・全8巻・別冊解題

●定価（250,000円+税）

ISBN：978-4-86369-429-3

●聞き語りDVD付き

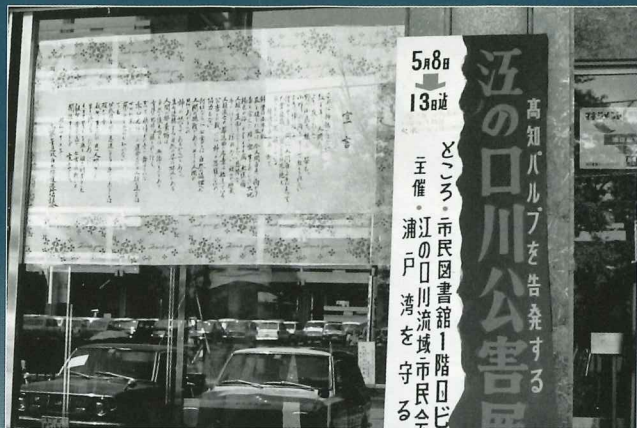
●聞き語りDVD撮影・編集：土井鮎太

すいれん舎

《本シリーズの刊行趣旨》

わが国の民衆運動は、戦後民主主義の中で成長し、60年安保反対の国民運動でひとつの頂点を迎える。その後、全国各地の住民・市民運動、消費者運動へと広がりをみせ、70年代に入ると、これら生活者の運動は高度成長を進める権力に抵抗する中から、自らの新しい公共性を構築。あとに膨大な活動の記録を残している。

戦後日本住民運動資料集成は、彼らが発行したミニコミ類を忠実に復刻し、運動の現代的意味を考察すると共に、民衆の築きあげてきた野史の間隙を埋めようとするものである。



●1971年5月に開かれた「江の口川公害展」



●浦戸湾で投網をする住民運動のリーダー山崎圭次氏

1 四大公害事件に匹敵する パルプ公害事件資料

全国で深刻化したパルプ公害事件。高知では住民たちが「浦戸湾を守る会」を結成、1971年工場排水路に生コンを流し込み、操業を停止させる実力行使にいたる。本資料集は四大公害事件に匹敵する歴史的に重要なパルプ公害事件資料を採録した。

2 裁判資料を完全収録

被告側から宇井純、宮本憲一、田尻宗昭、飯島伸子などの公害研究者たちが証人にたち、単なる刑事事件から歴史的な公害事件裁判となった高知パルプ生コン事件。この裁判資料を起訴状から証人尋問、判決文にいたるまで完全に近い形で収録した。

3 運動の機関紙「赤とんぼ」と 当事者の著作を掲載

住民運動の機関紙「赤とんぼ」を創刊号から時系列に配列し運動の経緯がたどれるようにしたほか、事件当事者達の著作や遺稿集をできる限り収録した。

4 住民運動を担った高知保守層の人々 —その厚みとユニークさ—

運動のリーダー山崎圭次氏は地元有力企業の社長であり、政治的には自民党を応援する保守であった。氏の著作を収録し、運動の背景やその考え、思想に迫った。また運動を下支えした地元有力建設リース会社社長福田健次郎氏の遺稿集、さらに山崎氏を敬愛する地元企業経営者などで組織する「浦戸湾を未来に残す会」の機関誌等を収録した。

5 当事者の聞き語りをDVDビデオに収録

紙の資料では補えきれない貴重な体験と歴史的事実、思いのたけを運動当事者やその家族に率直に語ってもらい、DVDビデオに収録した。



●「浦戸湾を守る会」会長の山崎圭次氏（向かって左側）、事務局長の坂本九郎氏（向かって右側）



●きれいになった江ノ口川。川沿いの城西公園に2001年「江ノ口川浄化祈念碑」が建立される。

収録資料概要

【1巻】		
高知パルプ公害裁判(生コン事件)資料(第1集)		
1948年11月24日	高知市長より知事への副申書	
1950年11月28日	旭地区民と会社間で調印された協定書	
1970年5月21日	第1回会談～第3回会談の結論	
1971年6月9日	実力行使に際しての趣意書	山崎圭次
1971年12月24日	起訴状	
1972年2月22日	第1回公判の記録	
1972年7月14日	第4回公判の記録	
高知パルプ公害裁判(生コン事件)資料(第2集)		
1973年1月17日	第6回公判要旨	
高知パルプ公害裁判(生コン事件)資料(第3集)		
1973年2月21日	第7回公判要旨	岡本節夫
【2巻】		
1973年3月28日	冒頭陳述の要旨	
高知パルプ公害裁判(生コン事件)資料(第4集)		
1973年2月21日	第9回公判要旨	尾崎茂夫
1973年7月20日	第11回公判要旨	飯山賢治
1973年9月5日	第12回公判要旨	刈谷安義
1973年11月21日	第13回公判要旨	吉松清
1973年12月21日	第14回公判要旨	溝渕増己
【3巻】		
高知パルプ公害裁判(生コン事件)資料(第5集)		
1974年3月6日	東京大学出張公判要旨	近藤準子
1974年6月28日	第15回公判要旨	衣笠洋右
1974年7月17日	第16回公判要旨	今井嘉彦
1974年8月7日	第17回公判要旨	飯島伸子
高知パルプ公害裁判(生コン事件)資料(第6集)		
1974年9月13日	第18回公判要旨	宮本憲一
【4巻】		
1974年10月16日	第19回公判要旨	田尻宗昭
1974年11月27日	第20回公判要旨	西原道雄
1974年11月27日	第20回公判要旨	宇井純
1975年1月8日	第21回公判要旨	入交信次郎
1975年1月8日	第21回公判要旨	橋本巨
高知パルプ公害裁判(生コン事件)資料(第7集)		
1975年4月30日	第22回公判要旨	坂本九郎
1975年5月14日	第23回公判要旨	山崎圭次
1975年7月16日	第25回公判要旨	落合明

【5巻】		
高知パルプ公害裁判(生コン事件)資料(第8集)		
1975年9月	論告要旨	高知地方検察庁
1975年10月1日	弁論要旨	
	最終意見陳述	坂本九郎
高知パルプ公害裁判(生コン事件)資料(第9集)		
1976年4月6日	判決文	高知地裁
	生コン事件年表	
【6巻】		
1971年2月20日	赤とんぼ第1号	高知県公害追放自然保護連絡協議会
1973年1月15日	赤とんぼ第15号	高知県公害追放自然保護連絡協議会、浦戸湾を守る会
1976年1月5日	赤とんぼ第31号	高知県公害追放自然保護連絡協議会、浦戸湾を守る会
1984年4月25日	赤とんぼ第50号	高知県自然保護連合
1985年12月1日	赤とんぼ第57号	高知県自然保護連合
1972年6月1日	生コン裁判ニュース第2号	高知パルプ公害裁判支援会議
1974年11月16日	生コン裁判ニュース6号	高知パルプ公害裁判支援会議
1973年12月20日	高知生コン事件資料 第一集	浦戸湾を守る会
【7巻】		
1978年1月10日	人間周期率	山崎圭
1987年8月25日	星よりのことづて	山崎圭
1990年7月25日	地球の命に戻る日	山崎圭
【8巻】		
1980年2月1日	高知生コン事件の全貌 二十一世紀への案内の書	和田幸雄
2009年3月6日	福田健次郎遺稿集 希いは一つ	
1982年12月1日	高知県みどりの党綱領	高知県みどりの党
1970年7月18日	宣言	高知県公害追放自然保護連絡協議会
2009年9月30日	浦戸湾だよりVol.1	浦戸湾の自然を未来に残す会
2015年7月10日	浦戸湾だよりVol.8	浦戸湾の自然を未来に残す会
2010年6月10日	「浦戸湾の自然を未来に残す碑」建立報告書	浦戸湾の自然を未来に残す会

● 高知パルプの排水溝に生コンを流し込んだ日、配布した趣意書

趣意書

御承知のように、高知の川は「死の川」となり、浦戸湾も今や死に懸かっています。この汚染の原因の大部分が高知パルプの廃棄物であることは周知のことです。

私らは過去三回にわたって、県・市立会のもとに、会社側と交渉を繰り返してきました。去る四月一六日、第三回会談において、会社は「四七年二月末メドに移転を完了する」旨を告げました。私らは、メドという表現のあいまいさを追及すると共に、移転できなかった場合の会社の態度を明確にするよう要求しましたが、この点について、会社は五月末までに文書回答をおこない、この文書を基に六月一〇日までに第四次会談をひらくことを確約しました。

五月三十一日、会社は「移転の期日は確約できない。移転できない場合は依然として授業を続ける」旨文書回答で、尚「今後の会談は一切拒否する」とを口頭で、市を通じて通告してまいりました。

公開の席上で確約したことを一方的に放棄し、合意を拒否する会社側の態度に対し、私たちにどのような手段がとられているでしょうか。自然を破壊することは私たちが自らを破壊することであり、自然の死は人間の死であることを、私たちは固く信じております。

私たちの今回の行動がやむを得ないものであったにせよ、人々の非難や法の罰も甘受するつもりです。

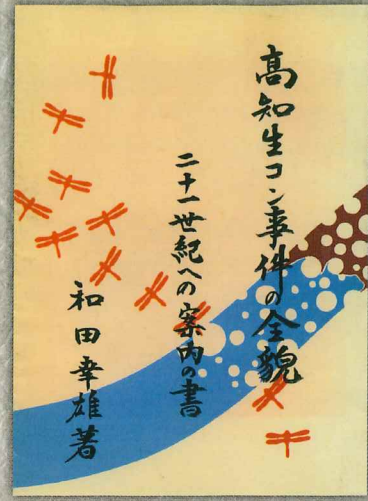
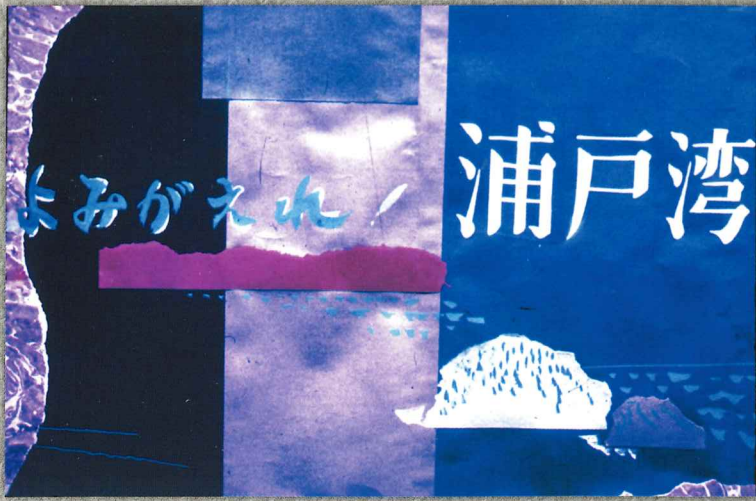
ただ、私たちの行動を通じて、行政当局や市民の方々へ、公害のおそろしさを本質的に考えていただく機会の一助ともなれば、と、祈る気持ちでいます。

昭和四十六年六月九日

浦戸湾を守る会
会長 山崎圭次



● 1971年2月創刊された「高知県公害追放自然保護連絡協議会」の機関紙「あかとんぼ」



●「浦戸湾を守る会」メンバー和田幸雄氏の著作
「高知生コン事件の全貌」を部収録。

聞き語りDVD目次・収録者一覧

- 1 プロローグ 高知パルプ生コン事件の現場を訪ねて
- 2 山崎圭次さんの長男・山崎広二郎さん
生コン事件の実行者・吉村弘さん
- 3 浦戸湾を守る会事務局長・田中正晴さん
機関紙「赤とんぼ」編集人・野口明男さん
弁護士・梶原守光さん
- 4 浦戸湾の自然を未来に残す会代表・岡崎洋一郎さん
- 5 四国建設センター代表取締役専務・福田真苗さん

製作 ● すいれん舎
聞き手 ● 宮本憲一
安田常雄
撮影／編集 ● 土井鮎太
資料提供 ● 田中正晴

*DVDについては館内上映・館外貸出・館内利用・授業利用いずれも可

推薦者
(五十音順)

淡路剛久 (立教大学名誉教授)

菅井益郎 (國學院大學教授)

寺田良一 (明治大学教授)

寺西俊一 (一橋大学特任教授・
日本環境会議理事長)

長谷川公一 (東北大学教授)

堀川三郎 (法政大学教授)



●既刊

1期	復刻『草の根通信』1 1号～205号(1989年12月号) 2006年1月●揃定価(240,000+税) B5判・全9巻+解題 ISBN978-4-902871-45-6
2期	『巻原発反対運動・住民投票資料』 2006年12月●揃定価(240,000+税) B5判・全10巻+解題 ISBN978-4-903763-00-2
3期	『横浜新貨物線建設反対運動資料』 2008年1月●揃定価(240,000+税) B5判・全9巻+解題 ISBN978-4-903763-47-7
4期	復刻『草の根通信』2 206号～380号(2004年7月号) 2008年9月●揃定価(240,000+税) B5判・全10巻+解題 ISBN978-4-903763-73-6
5期	復刻『草の実』1 1号～200号 2009年11月●揃定価(240,000+税) A4判・全7巻+解題 ISBN978-4-86369-068-4
6期	復刻『草の実』2 201号～475号 2010年8月●揃定価(240,000+税) A4判・全10巻+解題 ISBN978-4-86369-097-4
7期	志賀(能登)原発反対運動・差止訴訟資料 2012年2月●揃定価(250,000+税) B5判・全11巻+解題+DVD付 ISBN978-4-86369-192-6
8期	三島・沼津・清水町石油コンビナート建設反対運動資料 2013年2月●揃定価(250,000円+税) B4判・B5判全8巻+解題+DVD付 ISBN978-4-86369-248-0
9期	奄美群島住民運動資料 2014年12月●揃定価(250,000円+税) B5判・B4判全9巻+解題+DVD付 ISBN978-4-86369-350-0
10期	高知パルプ生コン事件資料 2016年6月●揃定価(250,000円+税) B5判・全8巻+解題+DVD付 ISBN978-4-86369-429-3

●刊行予定

11期	川辺川ダム建設反対運動資料 2016年12月●揃定価(250,000円+税) B5判・全9巻+解題+DVD付
-----	---

《販売対象》

- 文学部：現代史、女性史、フェミニズム
- 環境関連学部学科／社会学部：環境社会学、社会運動、都市社会学会、地域社会学、ジェンダー
- 経済学部：環境経済学、経済史、財政学
- 法学部：不法行為、環境法、行政法、憲法、不動産法、政治学、行政学、地方自治、公共政策
- 農学部 ●水産学部 ●工学部
- 都道府県立図書館 ●市区立図書館

株式会社 すいれん舎

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-14-3-601

TEL.03-5259-6060 FAX.03-5259-6070

E-mail masato@suirensa.jp

取扱店